

令和5年度事業報告

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

1. 概 況

本会は、法人会の理念に則り、税関連の公益目的事業をはじめとする諸事業、また地域に寄り添った社会貢献活動を展開する経営者の団体です。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各種説明会・研修会や小学生を対象とした租税教育事業、地域のお祭り参加といった地域社会貢献活動等も通常通り実施することができました。また、別途積み増した準備金を使用し、従前ではお呼びすることが難しかった著名な講師の方々による講演会・セミナーを開催することができ、参加された皆様から好評をいただきました。

税知識の普及、納税意識の高揚を目的とする事業の「新設法人説明会」、「決算期別説明会」、「消費税インボイス制度説明会」、「法人会指定税務講習会」、「青年部会税務研修会」、「女性部会税務研修会」、青年部会による小学6年生のクラスに出向いての「租税教育活動」、女性部会による南部ブロック合同開催の「親子でタックスツアー」を開催しました。また、市内全校の小学6年生を対象とする「第8回税に関する絵はがきコンクール」は、女性部会中心での開催を行い、1,789点の応募作品数となりました。

税制や税務に関する調査研究・提言として、毎年実施している税制改正提言は、中小企業の租税負担の軽減、適正公平な課税・税制等を『令和6年度税制改正に関する提言』に反映させ、各市長、地元選出国會議員への要望陳情活動を、例年通り実施しました。今後も、中小企業支援策にスポットをあて税制改正提言を実施してまいります。

地域企業の健全な発展に資する事業は、「初級簿記講座」、「職場のマナー研修会」、「法人会特別講演会」、「青年部会経営研修会」、「女性部会特別講演会」について、コロナ 5 類移行に伴う通常通りの開催を行ないました。

地域社会の健全な発展に貢献する事業として、各支部が実施した「新座市民まつり」、「日本赤十字社の献血協力」、「黒目川花まつり」、「朝霞市民まつり」、「川と街をきれいにする運動」では多数の来場者のもと実施しました。また、女性部会が行う通年のエコキャップ・使用済み切手の回収運動は、医療支援・障害者支援、世界の子供へのワクチン支援の目的に実施しました。

会員のための福利厚生事業では、万一の場合に備えて、「1社でも多くの会員企業を守りたい」という理念のもと、提携生損保3社と連携を取りつつ取り組んでまいりました。

結びにあたり、役職員一同、会員の皆様並びに地域社会に従来以上にお役に立ち、貢献できるよう、今後も活動してまいりたいと存じます。

当事業年度の各支部、各委員会、各部会の活動の詳細は次頁以降に記載の通りです。

2. 4支部(朝霞・志木・和光・新座)

4支部では、下記の通り、それぞれ会員ならびに非会員を対象とした交流による地域の発展・活性化を目的として社会貢献活動を積極的に展開しました。また、地域企業の異業種交流並びに情報交換等を目的とした賀詞交歓会・親睦研修の開催を諸会議で検討のうえ実施しました。

(1) 朝霞支部

朝霞支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、黒目川花まつりは下記内容で2回開催しました。

第17回黒目川花まつり(令和5年4月1日～2日)では、法人会ブースにおいて法人会のPR並びに税の普及活動を行ない、またホットドッグ売上金と募金、合わせて78,293円を「トルコ・シリア地震救援金」として寄付しました。第18回黒目川花まつり(令和6年3月30日～31日)においても、法人会ブースにおいて法人会のPR並びに税の普及活動を行ない、またホットドッグ売上金と募金、合わせて104,055円を「能登半島地震義援金」として寄付しました。

朝霞市民まつりでは、青葉台公園に法人会4支部の幟を配置し、鳴子チームへは法人会ステージを提供、踊り子さんへの給水活動を行い、法人会のPRに努めました。

賀詞交歓会(令和6年2月6日)は、来賓もお招きして盛大に開催し、支部親睦研修旅行(令和6年2月18日)は秩父ウイスキー祭りに行き会員間の親睦を深めました。

(朝霞支部に関連した事業・会議等詳細は、1、12、14、15ページに記載)

(2) 志木支部

志木支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、例年実施する「川と街をきれいにする運動」(令和5年5月13日、10月22日)に参加しました。

また、志木市コミュニティ協議会にぎわい創出委員会メンバーとして、さくらフェスタ事業協力(令和6年3月23日～24日)への参加も行いました。

支部親睦研修旅行(令和5年11月2日)は赤坂迎賓館を見学後、精肉店「千駄木越塚」のレストランでの肉料理を堪能、また、賀詞交歓会(令和6年1月26日)は、来賓もお招きして盛大に開催し、会員間の懇親を深めました。

(志木支部に関連した事業・会議等詳細は、2、12、14、15ページに記載)

(3) 和光支部

和光支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、日本赤十字社への献血協力(令和5年9月5日)を、支部・青年部会・女性部会の会員の協力も仰ぎ実施しました。当日は、参加総数75名、うち一般の人数は60名と、多くの方の協力をいただきました。併せて、税の啓発用冊子の無料配布や入会案内等を通じ法人会のPRに努めました。

支部親睦研修旅行(令和5年11月23日～24日)は、静岡方面(大井川鉄道・焼津、久能山)に行き、また、賀詞交歓会(令和6年2月9日)は、盛大に開催し会員間の親睦を深めました。

(和光支部に関連した事業・会議等詳細は、2、12、14、15ページに記載)

5. 研修委員会

研修委員会は事業計画に基づき、地域企業の健全な発展に資する事業として税務・経営・経理をはじめ会員・非会員を問わず、ニーズに即した研修事業を実施しました。

- (1) 税務当局、税理士会の協力のもと、「新設法人説明会」「決算期別説明会」「消費税インボイス制度説明会」を、隔月で計18回開催し、出席者は会員並びに非会員あわせて延べ360名にのぼりました。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、初級簿記講座、職場のマナー研修についても対面での開催を行ない、延べ82名の参加がありました。
- (3) 著名な講師をお招きし時局に合ったテーマを選択して特別講演会を2回実施しました。講師は、元福岡ソフトバンクホークス監督の工藤公康氏、元衆議院議員の金子恵美氏で、延べ253名の出席者を集め盛大に開催しました。
- (4) 令和6年2月より、会員向けサービスとしてインターネットセミナーを開始しました。700本以上のセミナーがオンデマンド配信されており、全会員が何時でも、何処でも、見たいセミナーを視聴することができます。対面での研修と併用することで、会員が希望する研修テーマのメニューを増やし、会員の研修機会拡大に繋がることを目的としています。

(研修委員会に関連した事業・会議等詳細は、4、5、8、9、13ページ に記載)

6. 税制委員会

税制委員会は事業計画に基づき、税制改正提言のとりまとめ・提言活動等の諸事業を実施しました。

- (1) 税制に関しての意見具申することが税制委員会の重要活動であり、「令和6年度税制改正に関する提言」へのアンケート調査を全役員向け、全会員向けに発信し、Web 上での回答を依頼した結果、役員71件、会員386件の回答をいただきました。調査結果は県連を通じて、全法連が取りまとめ提言書を作成し、当会では各市長・地元選出国會議員に直接持参し要望陳情活動を行ないました。
- (2) 令和5年10月18日、第40回法人会全国大会(群馬大会)での税制改正要望式典には会長はじめ5名が参加しました。
- (3) 令和5年11月22日、「法人会指定税務講習会」を開催しました。朝霞税務署長が講師となり、「税務行政の将来像について」というテーマで講演をしていただき、64名の出席者を集め、好評を博しました。

(税制委員会に関連した事業・会議等詳細は、5、10、11、12ページ に記載)

7. 広報委員会

広報委員会は事業計画に基づき、ホームページ並びに広報紙による税情報の発信を基本に一般の方にも広く親しんで貰えることを念頭に活動を行いました。また、税を考える週間に合わせ、朝霞駅構内に法人会ポスターを掲示し、PRに努めました。

- (1) 広報紙「法人NAVI」の発行は、年4回行い、掲載記事は一般市民にも役立ち・楽しめる内容となるよう編集に工夫をこらしました。また、当会 QR コードを作成し、広報紙の表紙に掲載しました。読み取ると、当会ホームページを閲覧出来るようになりました。QRコードは、その他一部の印刷物にも掲載しております。

(2) 当会のホームページについても税制アンケート用バナーを貼り、当会ホームページから回答できるようにしました。また、講演会・研修会・各支部で実施した社会貢献活動など、その都度、画像を更新、会の活動を会員はじめ誰もが身近に感じてもらえたらとの想いで掲載しています。

朝霞法人会ホームページのアドレス(<http://a-hojinkai.or.jp/>)

(3) 屋外の法人会「看板」の設置は、朝霞、志木、和光、新座市内に設置させていただいており、本会のPR活動の一環として今後も適宜増やしてまいりたいと思います。

(広報委員会に関連した事業・会議等詳細は、5、11ページ に記載)

8. 厚生委員会

厚生委員会は事業計画に基づき、福利厚生制度加入拡大キャンペーン「Challenge100」を展開し、「1社でも多くの会員企業を守りたい」の想いに立ち返り、提携生損保と連携して、加入企業と新規契約数の拡大を図って参りました。令和5年度は、役員加入率は68.7%に留まり、目標の70%に及びませんでした。新契約保険金額は、目標比130.3%の実績を収めることができました。契約事務手数料は、公益目的事業助成金として会費収入と並ぶ重要な運営資金として活用されます。

○経営者大型総合保障制度(大同生命保険株式会社)

役員加入率(70%以上目標)			青年部会新契約企業(単位:社)			女性部会新契約企業(単位:社)		
対象数	目標	加入率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
67	46	68.7%	3	8	266.7%	2	7	350.0%

新契約保険金額(単位:万円)			新規企業数(単位:社)			紹介による成約件数(単位:社)		
目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
199,000	259,350	130.3%	13	8	61.5%	7	1	14.3%

○ビジネスガード(AIG損害保険株式会社)

新規企業(単位:社)			取扱企業(単位:社)			請求保険料(単位:円)	
目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	実績	前期比
30	24	80.0%	409	371	90.7%	263,085,000	109.0%

○がん保険(アフラック生命保険株式会社)

新契約件数(単位:件)			新規企業数(単位:社)		
目標数	実績	達成率	目標数	実績	達成率
71	71	100.0%	12	6	50.0%

(1) 生活習慣病健康診断ならびに一般定期健康診断の利用は、会員向け特別料金の設定により多くの申し込みをいただきました。健康面から会員加入のメリットを実現しており、未利用会員は新規の利用をお願いします。(令和5年度6回実施)

(厚生委員会に関連した事業・会議等詳細は、5、15ページ に記載)

9. 青年部会

青年部会は事業計画に基づき、青年経営者が中心となり下記のような活動を実施しました。

- (1) 第37回全国青年の集い山形大会(令和5年11月9日～10日)は8名の部会員で参加しました。
- (2) 青年部会経営研修会は、令和6年1月25日、評論家の三橋貴明氏を招聘、一般を含め多数の参加者があり、好評を博しました。また、青年部会税務研修会は、令和6年2月2日、講師として公認会計士・税理士光實圭一氏による研修を実施しました。
- (3) 次代を担う児童・生徒に税の意義や役割を正しく理解してもらい、税に対する理解が国民各層に広がっていくことを目的として、学校に出向いての租税教室を令和5年7月14日、新座市立新開小学校で行いました。また朝霞税務署主催の租税教室講師説明会に参加しました。
- (4) 税知識醸成を目的とした租税教育用下敷きを朝霞税務署管内の小学校6年生全員に配布しました。
(青年部会に関連した事業・会議等詳細は、5、6、10、11、13ページ に記載)

10. 女性部会

女性部会は事業計画に基づき、女性経営者が中心となり下記のような活動を実施しました。

- (1) 女性部会税務研修会は、計画に基づき年2回、令和5年6月8日と令和6年2月22日に開催しました。
- (2) 第17回全国女性フォーラム愛媛大会(令和5年4月13日)には3名参加しました。
- (3) 女性部会租税教室(親子でタックスツアー)(令和5年8月2日)を開催しました。4法人会(朝霞・浦和・大宮・上尾)女性部会が一同に会して、小学生と親を対象に税務署担当官が講師となり、税の大切さを感じてもらうことを目的に実施しました。今回は大宮法人会朝霞が担当し、会場は大宮ソニックシティにて税金クイズ、日本フィル弦楽四重奏団と東部方面自衛隊音楽学校の演奏会を行ない好評を博しました。
- (4) 第8回税に関する絵はがきコンクールを実施。管内の小学校44校の6年生を対象として、「税の大切さ」、「税の果たす役割」について学び、その知識や感想を絵はがきにすることで、税に対する理解をより深めてもらうことを目的に夏休み前の6月に募集を開始、過去最多の2,285点の応募があり令和4年11月16日に優秀作品の表彰式を納税表彰式の式典の場で実施いたしました。
- (5) 通年で女性部会としてエコキャップ回収推進運動を行い、活動した結果、エコキャップの受領個数72,240個(168kg)累計個数656,782個をエコキャップ推進協会へ贈呈、エコキャップは、前年比、倍の回収実績となりました。なお、使用済切手の回収は認定NPO法人、世界の子供にワクチンを日本委員会に切手重量1,130g、概算額1,130円を贈呈しました。

(女性部会に関連した事業・会議等詳細は、6、7、8、11、13、14ページに記載)